

御報告とおわび

国立がん研究センター中央病院と東病院の病院情報システム（電子カルテ）の注射指示オーダープログラムに不具合が見つかり、入院中の患者さんに誤った薬が投与されたことが判明し、現在調査をすすめております。これまでのところ、患者さんへの影響があった事例は認められておりません。

今後、このようなことが起きないように、電子カルテのプログラムを行った日本アイ・ビー・エム株式会社とともに、さらに調査をすすめ、再発防止に全力を挙げて取り組んで参ります。

平成22年12月28日

国立がん研究センター 理事長

嘉山 孝正